

## 共同運営部門：感染症センター

### <スタッフ紹介>

役 職	スタッフ名
センター長 総合内科・感染症内科部長	倭 正也

### <関連部署>

総合内科・感染症内科	救命診療科	院内感染対策室
リハビリテーションセンター	薬剤部門	看護局
検査・栄養部門臨床検査	特殊任務看護師	放射線部門
臨床技術部門臨床工学	事務局	

### <特色と概要>

感染症センターは泉佐野市立感染症センターとして、輸入感染症の国内侵入を阻止するため1994年に関西国際空港対岸のりんくうタウンに建設された。りんくう総合医療センターとして総合的に運用されていたが、1999年4月施行の「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」施行以来、市立泉佐野病院の管轄下に移行した。現在は、西日本唯一の特定感染症指定医療機関であり、感染救急対応の機能を持つ感染症センターである。特定感染症指定医療機関としての役割を果たすべく、関西空港検疫所、大阪検疫所、大阪府等関連機関との会議や合同訓練、見学、医大生の実習受け入れ等を実施している。

これまでの経験として、2003年 鳥からヒトへ感染が認められたH5N1亜型ウイルスによる高病原性鳥インフルエンザが、パンデミックインフルエンザ(新型インフルエンザ)に変異することを危惧し体制の強化を図っていたところ、2009年4月豚由来による新型インフルエンザ(2009pandemicH1N1)が発生した。その際には、感染拡大防止のため当センターが中心となり、国内、地域への大きな役割を担った。2014年、西アフリカでエボラ出血熱がアウトブレイクし、11月7日には我が国3例目(東京での2例目と同日)となるエボラ出血熱疑似症患者(ギニア国籍の20代女性)を関西空港検疫所から感染症センター高度安全病床(高度隔離陰圧室)に受け入れた。

2016年2月、安倍総理は「国際的に脅威となる感染症対策関係閣僚会議」で、特定感染症指定医療機関について、エボラ出血熱の患者に対する海外での医療機関の対応も踏まえ、エボラ出血熱等の重症患者に対する集中治療が行えるよう設備の充実を計画的に進め、その機能の強化を図るという方針を出された。2016年3月15日(火)財務省と厚生労働省の方が当センターの視察をされた。集中治療のための準備をするべく2016年12月に集中治療の医療機器が設置された。2017年、厚生労働省より集中治療のための病室拡張の意向確認があり、2018年に高度安全病床(高度隔離陰圧室)の改修工事及び滅菌設備の更新等の工事整備を行った。病室の広さはこれま

での3倍となり、院内最大の集中治療対応の陰圧個室となった。

新興感染症の集中治療を、高度隔離陰圧室内でfull PPE着用下にて医療者の二次感染を防ぎ安全に施行するには適切なトレーニングが必要になる。米国にはすでにNational Emerging Special Pathogens Training and Education Center (NETEC)による確立されたコースがあるがわが国にはなかった。EVDの集中治療に成功したフランクフルト大学病院やネブラスカ大学医療センターからの技術研修等を通して、感染対策に十分に留意した気管挿管、中心静脈穿刺、CRRT、ECMOなどの集中治療施行手順を作成し、2019年10月にはわが国初となる一類感染症等集中治療アドバンスワークショップ研修会を当院において開催し、特定感染症指定医療機関である国立国際医療研究センター、成田赤十字病院の感染症専門医、集中治療専門医、看護師、臨床工学技士からなるチームに対して技術指導等を行ったことは大変有意義であった。この経験を活かしたのが新型コロナウイルス感染症である。2019年12月、倭感染症センター長より、中国武漢から発生した新型コロナウイルス感染症の感染者が来院する可能性と対応の指示があり、2020年1月より大阪府、関西空港検疫所より新型コロナウイルス感染症疑い患者が相次いで来院した。(後に1名は当院の検査で陽性と判明) 3月、新型コロナウイルス感染症の重症者2例の受け入れを経験した。感染症センター高度安全病床にて手指衛生の徹底を基にした手順で、医師と特殊任務看護師、臨床工学技士が協力して感染対策に十分に留意して気管挿管、人工呼吸管理、CRRT等の集中治療を行うことができた。これまで行ってきた研修や訓練による成果を確認できたことは大変貴重であった。

重症者2名を含めた満床状態が続く中、新型コロナウイルス感染者数の増加により第1波に入る頃、当院の受け入れ体制が強化された。救命救急センターEICUで重症者4床、感染症センターは中等症10床の受け入れへ変更した。その後、5階海側病棟を軽症患者受け入れ病棟としたが、看護師の分散状態により看護師不足が生じ、感染症センター業務の継続が困難となり、9月18日に感染症センターを閉鎖した。同9月、新型コロナウイルス感染症患者への抗体カクテル療法外来を開設した。現在は一類、二類感染症等の新興感染症の対応に備えつつ、軽症・中等症の新型コロナウイルス感染症患者数により適宜、感染症センターを稼働している。2022年9月、一類、二類感染症等の新興感染症対応の特殊任務看護師の養成を高度な感染防御からクリティカルケア看護までの内容とし講義に

多職種の協力を得た。今年度は特殊任務看護師を目指す看護師のカリキュラムを開講し動画で繰り返し学習する環境を整えた。

2024年2月、新型コロナウイルス発生以降、5年ぶりに大阪府感染症患者移送訓練(大阪府主催)を本庁、関西空港検疫所、和泉保健所、民間救急事業所と合同で行った。各機関との連携、初の民間救急による患者移送、搬送経路、感染予防対策等の検証ができた有意義な訓練となった。

## <実績>

### 特殊任務看護師ミーティング(訓練を含む)

5月12日	6月9日	7月14日	8月18日	9月8日	10月13日
11月10日	12月5日	1月13日	2月9日	3月8日	

### 特殊任務看護師 PPE 着脱訓練(回数)

4月	6月	7月	8月	9月	11月	12月	1月	2月	3月
5回	1回	2回	4回	1回	6回	1回	2回	1回	1回

### 院内訓練研修(臨床検査技師)

5月22日～6月23日	第1回検査科防護服着脱訓練	32名
12月26日～1月31日	検査科作成防護服着脱ビデオ視聴研修	30名
1月29日～2月29日	第2回検査科防護服着脱訓練	29名

### 院内訓練研修(臨床工学 感染症対応チーム)

3月	防護服着脱訓練	2名
----	---------	----

### 特殊任務看護師養成カリキュラム

#### <集合研修>

講義実施日	講義名
10月20日	特定感染症指定医療機関の役割 感染症センターの構造と設備の特徴
11月29日	特殊なPPEの着脱
12月22日	人工呼吸器の取り扱い
1月17日	血液浄化装置の取り扱い
3月8日	ウイルス性出血熱・肺炎の病態と治療

#### <オンライン研修>

動画配信時期	講義名
11月	標準予防策と経路別予防策、一類・二類感染症の感染経路と予防策、敗血症患者の看護
12月	敗血症の病態と治療、呼吸不全・ARDS患者の看護 人工呼吸療法、血液浄化療法
1月	血液・体液曝露の予防
3月	フェシリティマネジメント、洗浄・消毒・滅菌の原則 せん妄患者の看護、離された患者の苦痛緩和ケア

### 厚生労働省

5月22日(月)	新型コロナウイルス感染症診療の手引き オンライン会議 俊正也
9月29日(金)	「感染症危機管理に関する臨床試験ネットワーク構築および 専門人材の育成に資する研究」国立国際医療研究センター WEBミーティング 俊正也
10月25日(水)	医薬品等行政評価・監視委員会勉強会(意見交換) web 俊正也
11月21日(火)	感染症臨床研究ネットワーク実証事業 説明会 俊正也
2月29日(木)	Mpox新規特定臨床研究 トリフルリジン点眼薬(Tripox試験) web会議 俊正也

### 厚労省研究班

10月24日(火)	令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「一類感染症等の患者発生時に備えた臨床対応及び行政との連携体制の構築のための研究」WEB班会議 俊正也
12月2日(土)	新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業「わが国における輸入熱帯病・まれな寄生虫症の診断治療体制の整備」熱帯病治療薬研究班_令和5年度班会議(ハイブリット開催) 俊正也
12月17日(日)	厚生労働行政推進調査事業 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業「一類感染症等の患者発生時に備えた臨床対応及び行政との連携体制の構築のための研究」2023年度 第一回 一類感染症等集中治療アドバンスワークショップ 俊正也
2月24日(土)	厚生労働科学研究費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「一類感染症等の患者発生時に備えた臨床的対応及び行政との連携体制の構築のための研究」WEBセミナー講師「一類感染症患者受け入れのための訓練について②(一類感染症受け入れ体制整備研修会等について)」 俊正也

3月12日(火)	一類感染症研究班 WEB班会議 俊正也
3月12日(火)	令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)一類感染症等の患者発生時に備えた臨床対応及び行政との連携体制の構築に関する研究のWEB班会議 俊正也

### 合同訓練

1月25日(木)	2023年度4回泉州感染防止ネットワーク 第4回 合同カンファレンス「新興感染症対応に向けての訓練(トリアージ・ゾーニング)」 俊正也、山内真澄
1月26日(金)	令和5年度関西国際空港検疫所検疫措置訓練(訓練評価) 俊正也、山内真澄、泉原里絵
2月14日(水)	1類等感染症の疑い患者の移送訓練(府内18保健所、本庁、移送委託先) 俊正也

### DMAT

6月22日(木)	令和5年度統括DMAT研修 俊正也
6月23日(金)	
7月26日(水)	令和5年度第1回近畿ブロックDMAT技能維持研修 俊正也
10月16日(月)	令和5年度福井県老人福祉施設協議会感染症対策研修会 俊正也
11月3日(金)	令和5年度第1回新興感染症クラスター対応研修
11月4日(土)	厚生労働省DMAT事務局 俊正也

### 大阪府

10月2日(月)	令和5年度第1回大阪府公衆衛生・感染症内科医師確保懇話会(Zoom開催) 俊正也
12月19日(火)	エイズ拠点病院等連絡会議(オンライン開催) 俊正也
12月26日(火)	動物由来感染症に係る会議 俊正也
2月29日(木)	エイズ診療拠点病院と大阪府医師会との連絡会(オンライン開催) 俊正也

### 大阪府新型コロナウイルス感染症対策協議会

4月21日(金)	第29回大阪府新型コロナウイルス感染症対策協議会 (書面による意見提出) 俊正也
9月21日(木)	第30回大阪府新型コロナウイルス感染症対策協議会 (書面による意見提出) 俊正也
10月26日(木)	第31回大阪府新型コロナウイルス感染症対策協議会 (書面による意見提出) 俊正也
3月7日(木)	第32回大阪府新型コロナウイルス対策本部専門家会議 (書面による意見提出) 俊正也

### 大阪府感染症対策部会

6月19日(月)	令和5年度第1回大阪府感染症対策部会 俊正也
7月31日(月)	令和5年度第2回大阪府感染症対策部会 俊正也
12月1日(金)	令和5年度第3回大阪府感染症対策部会 俊正也
1月31日(水)	令和5年度第4回大阪府感染症対策部会(書面開催) 俊正也

### 大阪府感染症対策審議会

5月31日(水)	令和5年度第1回大阪府感染症対策審議会 俊正也
8月31日(木)	令和5年度第2回大阪府感染症対策審議会 俊正也
12月22日(金)	令和5年度第3回大阪府感染症対策審議会 俊正也

### 大阪府動物由来感染症対策連絡会

3月5日(火)	令和5年度大阪府動物由来感染症対策連絡会 俊正也
---------	--------------------------

### 関西空港検疫所、大阪検疫所関連会議

10月20日(金)	令和5年度第1回 大阪港・阪南港健康危機管理連絡会議 (1)検疫所の業務について (2)検疫法の改正について (3)関係機関への協力依頼事項について (4)海外の感染症情報について 俊正也
1月15日(月)	「輸入感染症のワクチン接種を含む渡航前対応と渡航後対応について」 俊正也
1月26日(金)	令和5年度関西空港検疫所検疫措置の評価を行う 俊正也

### AMED

AMED 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業\_エムボックスの治療・予防体制の整備に関する研究開発\_班会議。(web開催) 計10回 第1回～第9回、臨時 俊正也

7月11日(火)	8月15日(火)	9月12日(火)	10月10日(火)
11月14日(火)	11月24日(金)※臨時	12月12日(火)	1月9日(火)
2月13日(火)	3月12日(火)		

## <今年度の反省と来年度への抱負>

大阪府感染症患者移送訓練(大阪府主催)への参加を機会に現在、関係機関と取り決めを行っている。院内ではアイソレーターで搬入する際の感染予防を見直す必要がある。

海外との往来が通常に戻ると輸入感染症の患者が来院することが多くなる。病院職員全員が、感染症を広げないという意識を持ち対応していたことを思い出してほしい。